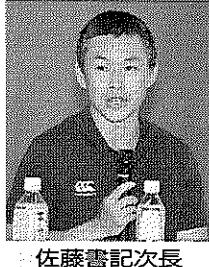




第54年次地方自治研究集会を開催



染書記長

中村書記次長  
(練馬組総支部)西村書記長  
(一組総支部)佐藤書記次長  
(一組総支部)萩原中央執行委員  
(板橋区担当)

現在、東京都で災害廃棄物処理計画が策定され、それを受けて各区での計画が策定される予定となっています。首都直下型地震が30年以内に起きた確立は70%と言われ、被災自治体からは、災害廃棄物が生活圏からなくならなければ、復旧・復興は始まらないと言われています。

こうした状況の中、今回の自治研集会は「災害廃棄物処理を考える」をテーマに開催されました。

8月20日(日)自治労会



上田 二三男氏(熊本市役所職員組合)

声をあげて少しずつ改善していくこと、委託現場の処理の遅れ、仮置き場の設置場所の問題等、反省点を含め赤裸々に報告いただきました。

練馬組総支部の中村書記次長からは東日本大震災後の復興支援の様子と清掃事業を含めて135名の参加者を含めて、委託現場の問題等、反省点を含め赤裸々に報告いただきました。

熊本の報告では熊本市役所職員組合の上田二三男氏が、東京自治研センターの方を含めて、委託現場の問題等、反省点を含め赤裸々に報告いただきました。

練馬組総支部の中村書記次長からは東日本大震災後の復興支援の様子と清掃事業を含めて135名の参加者を含め赤裸々に報告いただきました。

熊本の報告では熊本市役所職員組合の上田二三男氏が、東京自治研センターの方を含めて、委託現場の問題等、反省点を含め赤裸々に報告いただきました。

練馬組総支部の中村書記次長からは東日本大震災後の復興支援の様子と清掃事業を含めて135名の参加者を含め赤裸々に報告いただきました。

# 首都直下型地震、そのどしゃくは?



掃合組清京労千代田区飯田橋3-9-3  
TEL (3237) 9995  
1部20円  
編集責任企画・総務局多田修一郎

## わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

パネルディスカッションでは、江東区の中村区議と千代田区の小枝区議、板橋区担当の萩原中執、一組総支部の佐藤書記次長をパネラーに野崎常任中執をコーディネーターとして各区の災害廃棄物対策の進捗状況について議論が進められました。

佐藤書記次長からは、清掃工場について前段で説明がありたとおり、発災時に清掃工場には様々な役割がありますが、夜間に起きた場合には5~6名の職員しかおらず、また委託されている工場もあります。そんな状況で本当にこれだけの役割がこなせるのか不安であることや、近隣住民の一時避難場所となっている現地における役割と課題について、一組総支部の西村書記長(常任中執)より報告がありました。清掃工場は250ガル以上(震度6以上)になると緊急停止となります。また、堅牢な構造のため毛布すら用意されない現実が現場の声として切実に語られました。

萩原中執からは、今日の熊本の報告では、市民の心の中では未だ復興は道半ばであることが、非常食の備蓄は職員の分のみで毛布すら用意されない現実が現場の声として切実に語られました。

最後に染書記長より集会の皆さんに感謝したいと思います。多くの皆さんに感謝したいと思います。この話を参考にしながら取組んで行きたい。と組合員や当局を巻き込んでの取り組みについて話しがありました。

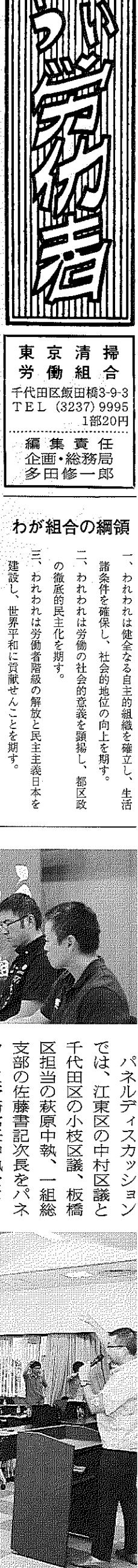
震災時に於ける役割と清掃工場には近隣住民の一部をとりながら、災害時の消防・自衛隊の活動拠点としての役割があります。

東京都との「協定」で警察署や当局を巻き込んでの取り組みについて話しがありました。

東区の中村区議からは、事前に全力を傾注することも、社会的労働運動の追及としての役割があります。

自治研活動の強化は、東京清掃労働組合の存在意義をかけた大きな取組みです。社会的労働運動の追及としての役割があります。

自治研活動の強化は、東京清掃労働組合の存在意義をかけた大きな取組みです。社会的労働運動の追及としての役割があります。



第54年次地方自治研究集会を開催

# 今後の課題、車付雇上化する現場の管理 高齢化社会への清掃事業としての対応 災害時の具体的な業務 増大が予想される再任用職員のあり方



▲現場の排出調査



(板橋区担当中央執行委員 萩原泰氏)

いま

No.21

清掃事業は…

➡➡➡板橋区

板橋区は、板橋東清掃事務所・志村事業所（車庫）・板橋西清掃事務所の3所で事業執行をしており、定年前職員が188名（東95・志28・西65）、再任用が5名（東3・志1・西1）配置されています。現在は再任用が少ですが、数年先には50名程度になる年度も出でています。

直営職員は可燃収集、高齢者・障がい者戸別収集、ふれあい指導班を基本業務とし、資源・粗大が委託、可燃収集の一部・不燃収集・ホッパー作業が車付雇上となっています。直営車の稼働は16台です。

区移管以降に数回の採用があり、直近では平成26年度に8名が採用されました。この採用に関する交渉において、当面の清掃事業のあり方が盛り込まれた覚書を結ぶことになりました。基本的に可燃収集を委託していくようなものでしたが、締結から3年が経ち、問題が明らかとなっていました。

現在の車付雇上の状況としては、板橋東で小部10組・軽ダ6組、板橋西で小部5組・軽ダ8組・大型ダンプ1組。車付雇上が導入された当時は小部10組（東6・西4）だけでしたので、可燃の車付化が進むことによって増加してきています。収集地図の把握、車付現場の調査、取り残しや問題のあつた集積所に関する情報提供など、組が

増えるごとに作業が煩雑化しており、ふれあい指導班業務としてではなく、直営職員は可燃収集、高齢者・障がい者戸別収集、ふれあい指導班を基本業務とし、資源・粗大が委託、可燃収集の一部・不燃収集・ホッパー作業が車付雇上となっています。直営車の稼働は16台です。

区移管以降に数回の採用があり、直近では平成26年度に8名が採用されました。この採用に関する交渉において、当面の清掃事業のあり方が盛り込まれた覚書を結ぶことになりました。基本的に可燃収集を委託していくようなものでしたが、締結から3年が経ち、問題が明らかとなっていました。

現在の車付雇上の状況としては、板橋東で小部10組・軽ダ6組、板橋西で小部5組・軽ダ8組・大型ダンプ1組。車付雇上が導入された当時は小部10組（東6・西4）だけでしたので、可燃の車付化が進むことによって増加してきています。収集地図の把握、車付現場の調査、取り残しや問題のあつた集積所に関する情報提供など、組が

ふれあい指導班業務としてではなく、直営職員は可燃収集、高齢者・障がい者戸別収集、ふれあい指導班を基本業務とし、資源・粗大が委託、可燃収集の一部・不燃収集・ホッパー作業が車付雇上となっています。直営車の稼働は16台です。

区移管以降に数回の採用があり、直近では平成26年度に8名が採用されました。この採用に関する交渉において、当面の清掃事業のあり方が盛り込まれた覚書を結ぶことになりました。基本的に可燃収集を委託していくようなものでしたが、締結から3年が経ち、問題が明らかとなっていました。

現在の車付雇上の状況としては、板橋東で小部10組・軽ダ6組、板橋西で小部5組・軽ダ8組・大型ダンプ1組。車付雇上がり戻し作業を行っていた3名はガータ上で出火を聞きつけ消火に向ったが、最後尾にいた被災者のみが開口部から約8m下のコンクリート床に墜落した。すぐに消防署に通報し、救急車で都立墨東病院に救急搬送したが、19時30分に警察より死亡の連絡が入った。

## 新江東清掃工場で発生した作業員の死亡事故に対する声明

2017年8月27日（日）17時26分頃、東京二十三区清掃一部事務組合新江東清掃工場において、ごみクレーントロリ下部ガードその他補修工事を請け負っている下請け会社の作業員が死亡する重大事故が発生した。

私たちは、亡くなられた方に心から哀悼の意を表し、お悔みを申し上げるとともに、ご家族の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

被災者は、上記補修工事請負会社（株式会社タクマ）の二次下請け会社（株式会社北畠開発研究所）従業員で、経験年数30年（63歳）のベテランだった。クレーンガータ上で墜落防止用安全ネットワイヤーのより戻し作業を3名で行い、その他1名が近くで新規トロリ下部安全ネットガードブラケット補強取付の溶接作業を行っていた。その際、火の粉が下部にあったバケット上に落ちてごみに引火し、ワイヤーのより戻し作業を行っていた3名はガータ上で出火を聞きつけ消火に向ったが、最後尾にいた被災者のみが開口部から約8m下のコンクリート床に墜落した。すぐに消防署に通報し、救急車で都立墨東病院に救急搬送したが、19時30分に警察より死亡の連絡が入った。

新江東清掃工場では、1998年の竣工以来、三度目の死亡災害事故になる。私たち東京清掃労働組合は、事故が発生する度に安全衛生委員会などを通じて事故の原因を究明し、再発防止に向けた対策強化を東京二十三区清掃一部事務組合に求めてきた。その訴えが届いていたのか、安全管理体制は十分だったのか、疑惑を抱かざるを得ない。労働安全法第21条では、「事業者は、労働者が墜落するおそれのある場所、土砂等が崩壊するおそれのある場所等に係る危険を防止するため必要な措置を講じなければならぬ」と規定されており、労働安全規則第519条では、「事業者は、高さが二メートル以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等を設けなければならない」とし、同529条では、「事業者は、建築物、橋梁、足場等の組立て、解体又は変更の作業を行なう場合において、墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、①作業を指揮する者を指名して、その者に直接作業を指揮させること。②あらかじめ、作業の方法及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること」が定められている。

下請け労働者の安全管理責任は受託業者にあるが、請負業者に係る職業安定法、労働者派遣法、労働安全衛生法などのコンプライアンスが遵守されていたのか、最低限の法令遵守の責任は、発注者である東京二十三区清掃一部事務組合にもあることを改めて自覚し、二度と重大事故を発生させない体制を確立するべきである。

2000年に東京都から23特別区に清掃事業が移管され、東京二十三区清掃一部事務組合が設立されて以降、どれほどの痛ましい死亡事故が発生したことか。人生半ばにして亡くなった労働者と残されたご家族の無念は想像を絶するものがある。ご家族は、生涯にわたって悲しみと苦しみを背負っていかなければならぬ。また、同じ職場で共に働いていた仲間の心にも深い傷が残る。

東京清掃労働組合および東京清掃労働組合一組総支部は、東京二十三区清掃一部事務組合に対し、安全作業の確保と人命尊重に努めるとともに、徹底した再発防止対策を強く求める。

2017年9月8日  
東京清掃労働組合  
東京清掃労働組合一組総支部

## 心から哀悼の意を表し、お悔みを申し上げることもに安全作業の徹底を強く求める

2017年8月27日（日）ごみクレーントロリ下部ガードその他補修工事を請け負っている下請け会社の作

業員が死亡する重大事故が発生しました。

新江東清掃工場では、1998年の竣工以来、三度

東京清掃労働組合および東京清掃労働組合一組総支

部は、東京二十三区清掃一部事務組合に対し、安全作

業の確保と人命尊重に努め

るとともに、徹底した再発



組織内候補として確認された岸まきこさん

8月28日から30日にかけて新潟市の朱鷺メッセにて自治労第90回定期大会が開催されました。賃金確定の闘い、地方公務員法・地方自治法の改正に伴う課題、現業・公企統一闘争のあり方や安倍政権が企図する政策実現をはかるため、岸まきこさん（多田修一郎）が交わされました。

8月28日から30日にかけて新潟市の朱鷺メッセにて多くの課題に熱い議論が交わされました。どうして、これが組合としても、今まで協議をしてきていますが、住民サービスを無視し、人員や予算の都合で車付雇上化を推し進めています。

試行錯誤しながら取り組んでいるところです。当局とはこれらのことについて協議をしてきてますが、住民サービスを無視し、人員や予算の都合で車付雇上化を推し進めています。

覚書の中の一部には「大規模災害の発生時」の職員・車両の確保も謳われていますが、大規模災害時の業務については全く整理が図られていません。区内の状況を把握している清掃職員が、収集業務以外に何をしなければならないのかを早急に確立していかなければなりませんが、防災担当部署との協議も進んでいません。

今後の課題として、車付雇上化する現場の管理、高齢化社会への清掃事業としての対応、災害時の具体的な業務、そして増大が予想される再任用職員のあり方を検討していくなければならない。すべては質の高い公共サービスとしての清掃事業に通じているため、展望をもって協議を進めていくつもりです。

## 「自治労第90回定期大会」が開催

比例代表選挙で「岸まきこ」さん（自治労本部組織対策局長）が組織内候補として立候補することとなりました。わが組合としても、今後、推薦し支援していくべきと考えていますので2年

た。わが組合としても、今

憲法改正阻止の闘いなど、多くの課題に熱い議論が交わされました。そうした中、第25回参議院選挙に向けて公共サービス現場の声を反映し、地方選挙に向けた公共サービス現場や地方財政確立のため、政策実現をはかるため、岸まきこさん（多田修一郎）が交わされました。

## 第25回参議院選挙比例区に「岸まきこ」さん